

[掲載紙] 上毛新聞「点描ぐんま経済 日銀支店長 見聞録」

[掲載日] 2017年3月24日

[テーマ] たまには夫婦2人で外出—“温泉王国”を堪能—

他人からのアドバイスを受け入れられるかどうかで器の大きさが分かるだなんて言われると、どんなアドバイスだって取りあえず受け入れたくなる。日頃から、もらったアドバイスについては何らかのかたちで日々の生活に生かそうと努めているのであるが、どうしても実行できないでいたことが一つあった。そのアドバイスとは、「育児中であっても、いや育児中であるがゆえに、たまには子どもを預けて夫婦2人で出掛けなさい」。

このアドバイスは3年近く前、妻や長男との生活を再開すべく、単身赴任していたニューヨークから東京に戻ろうというタイミングで、送別会を開いてくれた現地の友人が私に言ってくれたもの。ただ、その時から頭から離れることがなかったこのアドバイス、実行に移すことができないまま、群馬に転勤することになった。そして、次男が家族の一員に加わり、夫婦2人で出掛けることなど夢のように感じていた。

しかし昨年末、ようやくアドバイスを実行に移すことができたのである。これは、子どもたちを預けている保育園の先生に「お子さんたちをわれわれに預けて、たまにはお二人で羽を伸ばしてきたらどうですか」と背中を押してもらったから。予想していなかったその言葉を頂いた時、思わず涙が出そうになった。先生方こそ、たまにはお休みを取ってくださいね、と心の中で言いながら、ありがたく出掛けることにしたのである。

後は簡単。私と妻で日を合わせて仕事を休むだけ。出掛ける先は県内いくらでもあるが、まずは日帰り温泉に行くことにした。温泉王国群馬にやって来ていながら、これまで妻を温泉に連れて行ったのは、乳幼児も受け入れてくれる大型の宿泊施設に2度行ったきりであった。

その日は東京からなら3時間は優にかかる薬効豊かな本格的な温泉に1時間もかからずに到着。平日で人のまばらな中、心も身体もリフレッシュすることができた。

そしてつい先日も休暇を取得し、日帰り温泉を楽しんできた。今度は食事も楽しみの一つ。戻って来てからも、保育園に子どもたちを迎えに行く前に早めの夕食を取ってしまおうと、妻に何が良いか尋ねたところ、焼き肉かもんじゃ焼きとのこと。両方とも妻の好物であるが、子ども2人とともに熱い鉄板を囲むことは危険であるため、ずっと行っていなかった。その日はホワイトデー。比較的早い時間からやっている近所のジンギスカン料

理のお店を訪ねて口にした久しぶりのラム肉の味は、感動ものであったようだ。

さて、次は伊勢崎もんじゃ。食べに行くのはいつにしようかな。

| あなたは「夫婦二人きりのデート」をしてみたいと思いますか？ | |
|-------------------------------|-------|
| してみたい | 90.7% |
| 実際にはどれくらいの頻度でしていますか？ | |
| ほとんどしていない | 56.0% |

(注) インターネット調査。対象は結婚して子供がいる20～40代の男女。

有効回答数2,398名。2015年8月実施

(出所) タイムカレント「子育て夫婦のデート事情に関するアンケート調査」

〔 日本銀行前橋支店長
神山 一成 〕